



# やちよ市議会だより

市の花「バラ」

平成20年6月 第2回定例会

## 条例の制定案・専決処分の承認案など 3議案を可決

平成20年八千代市議会第2回定例会は、6月4日から6月24日までの21日間の日程で開催されました。

一般質問は、9日から12日までの4日間で行われ、代表質問に6名、個別質問に12名の計18名が市政全般について質問しました。

総務常任委員会、産業都市常任委員会が16日に、福祉常任委員会、文教安全常任委員会が17日に、また、議会運営委員会が18日に開催され、付託された議案、請願等の審査が行われました。市長から提出された案件は、条例の制定案1件、路線の認定案1件、専決処分の承認案1件、諮問6件の計9案件(すべて原案のとおり可決(適任))です。

このほかに請願1件、陳情3件、発議案(議員提出議案)4件が提出され、審議されました。(一般質問等は2・3面に、議案等の概要と議決結果は4面に掲載)

## 一問一答方式・対面式を導入 6月定例会の一般質問から

▶質問席で質問を行う議員



◀写真中央が新たに設置した質問席

### 導入による一般質問の主な変更点

	旧	新
質問・答弁の方式	一括質問・一括答弁方式	一問一答方式
発言場所	すべて演壇	質問の最初の1項目は演壇。以降は、答弁者と対面した質問席
答弁順序	行政組織順	質問項目順
制限時間 質問回数	答弁を含め60分 質問回数は3回まで	答弁を含め60分(変更なし) 質問回数は制限なし

一般質問等をより充実したものとするため、議会活性化検討委員会での検討の結果、6月の定例会から、一般質問・議案質疑において、一問一答方式(一般質問のみ)、対面式を導入しました。質問・答弁に、より緊張感が生まれ、傍聴者の方にも分かりやすい内容となりました。

## 委員会会議録が ホームページで閲覧可能に

本会議録に加えて、新たに常任委員会等の会議録を、本年3月第1回定例会の委員会から掲載しました。市議会ホームページの「会議録検索」から閲覧やことばの検索が可能です。是非、ご覧ください。

5月28日開催の全国市議会議長会定期総会において、自治功労者の表彰が行われ、議員在職25年として伊東幹雄議員が表彰されました。定例会開会日に、議場において表彰状と記念品の伝達が行われました。

## 全国市議会議長会から表彰 伊東 幹雄 議員

## 採択された陳情の処理の経過及び結果の報告

平成20年3月第1回定例会において採択された、陳情の処理の経過及び結果について、6月4日付けで豊田市長から次のとおり報告がありました。以下はその要旨。

### 陳情第2号 西工団交差点付近の交通安全に関する件

陳情項目1「サンリツ南側道路のガードレール設置」については、佐倉市側からの停止線の位置の変更を視野に入れ警察署と協議をし、現在設置してあるラバー製のポストからガードレール(開発当時は設置困難と判断した)等への変更を検討していく。

陳情項目3「バス通りの通学部分にスクールゾーンラインを」については、初めにスクールゾーンを設定するに当たり、根拠関係例規にのっとり推進している。今回の要望箇所も、学校等を中心とするスクールゾーン標示設置箇所の要望を受けてからの検討となるが、通学児童の人数等を考慮し「通学路注意・学童注意」等の路面標示は可能と思われるので、路面標示のない箇所に対し検討する。

陳情項目2「学童横断注意」の標識の設置については検討する。

また、陳情項目2「歩車分離式にかえて横断歩道のスクランブル化」及び陳情項目4「押しボタン式信号機の設置」については、八千代警察署に本陳情書を回付し、所管の千葉県公安委員会に要望してもらうよう4月16日に依頼した。

### 陳情第4号 日興総合研修センター跡地 大規模・高層マンション建設計画に関する件

文書で、市からマンションの事業者へ、住民側の要望に対して真摯な対応をお願いし、陳情に対する考えについて回答を求めた。4月25日付けで回答があった。趣旨は次のとおり。

- ・条例に基づき、大和田地区については4月20日までに7回の近隣説明会を開催し、計画概要、周辺への影響等について説明し、理解を得ようと努めてきた。
- ・住民の要望、陳情書の採択を真摯に受け止め、計画を982戸最大15階建てに変更した。陳情書の①住環境の破壊②高層建物による被害③混雑と事故危険の被害④災害・防災・衛生上の被害については、周辺に対して多大な影響は発生しないと考えている。事業採算上、これ以上の大幅な形状変更は容赦願いたい。
- ・今後も近隣住民との話し合いを継続していく。

以上の経過から、事業者が「八千代市中高層建築物の建築に係る紛争の予防及び調整に関する条例」に基づき、近隣住民に建築の計画の内容を説明し、要望に対しても可能な範囲で対応していることが認められる。

# 新しい豊かさ 市政 診る・

時代をリードする会

会派のスペースは所属議員数に応じ

## 公明党

### 代表質問

■坂本安議員  
協働のまちづくり

問 市民参加のまちづくり  
答 平成12年に策定した市民参加推進指針は、市民参加の必要性や目指す方向を取りまともておりますが、策定から8年が経過しており、総合的な見地から基本方針の見直しを検討してまいります。(総)

問 地域の特性を活かしたまちづくりの進捗状況

答 平成19年に実施いたしました「市民満足度調査」では、後期基本計画の策定当時とはほぼ同じ状態であることがわかりました。この結果を重く受け止め、多くの市民に感じてもらえる自立した市政運営を目指してまいります。(総)

問 「まちづくり基本条例」策定

答 第4期実施計画の中で仮称・自治基本条例制定検討事業として位置づけ、検討を進めております。今後は、情報公開、情報提供、市民意見の反映を基本として、周辺自治体の動

向を見ながら、引き続き自治基本条例制定に向け検討してまいります。(総)

まちづくり支援制度の創設

問 パーセント法を活かした支援制度の創設

答 NPO法人や市民活動団体に対する財政支援については、行政と市民団体等との協働を推し進めるための必要な方策の1つとして認識しております。市民の納税意識を高め、市民活動団体の自主的な活動を促していくために、検討組織を立ち上げ、方向性を探ってまいります。(総)

問 地域における予算編成制度の導入

答 地域の発意により、その地域内において実施する必要がある事業の財源として、事業に賛同する市民の市民税の何%かをその事業に使うという制度については、市民活動団体等へのパーセント法制度と同様に、研究してまいります。(総)

問 八千代広域公園の整備

答 新川沿いに野球場、テニスコート等の総合運動公園が設置されていること、中央図書館の設置場所とし

ても、市の中心となる場所が適当と考え、八千代広域公園は候補地にふさわしいと考えています。(生)

まちづくり交付金の活用

問 制度活用の考え

答 従来の補助事業に比べ、市の自主性・裁量性が大幅に向上し、地域の創意工夫を活かした総合的・一体的なまちづくりを進めることが可能なことから、積極的に活用する方向で考えております。(都)

問 下水道料金の改定

答 高齢化社会では、少量使用者、節水努力をしている方々への配慮が必要と認識しております。現在1m<sup>3</sup>からの従量制体系を採用している自治体についてその内容を分析、精査しており、課題である収入減の財源確保について下水道運営審議会等で意見を伺い、早期に料金改定の実施に向けて取り組んでまいります。(水)

問 新川沿いに野球場、テニスコート等の総合運動公園が設置されていること、中央図書館の設置場所とし

ても、市の中心となる場所が適当と考え、八千代広域公園は候補地にふさわしいと考えています。(生)

まちづくり交付金の活用

## 未来

### 個別質問

■松井秀雄議員

東葉線3300億円の債務  
八千代市は東葉線に10年間62億円の支援をしたが、平成19年から第2次支援を10年間62億円支援する。この間支援しても債務は1割しか削減できません。八千代市と船橋市は、沿線開発により乗降客の増加

### 委員会質問

■伊東幹雄議員(質問項目)

議案第3号 専決処分の承認を求めることについて  
①中間法人の取り扱い②NPO法人の取り扱い  
八千代市は東葉線に毎年6億円の支援を延々支払うことが予想されます。結論として、国は東葉線の早期黒字転換や八千代市の支援の軽減をする意思はなく、東葉線の存続だけを最大の目標としています。

## 日本共産党

### 代表質問

■小林恵美子議員

職員が働きがいを持つ市役所に  
今、働く人の3分の1が非正規雇用という現状の中で、「人間を使い捨てにするような働き方を何とかしてほしい」という願いが広がっている。市役所でも平成12年に515人であった非正規職員が20年には1135人へと増え、逆に人口は増えているのに、正規職員は減少している。市の職員は市民の願いを政策化し実現させる重要な役割を担っている。人口増にあわせ正規職員を確保すべきだ。

問 ①なぜこのように非正規

## 新政八千代

### 代表質問

■横田誠三議員

1 市民プールの休止  
今年度は市民プールが休止となるがその理由や代替について問う。要望として生涯学習プラザや、ふれあいプラザの温水プールの中学生の利用料を夏休み期間に限り100円とすること。

2 東葉高速鉄道について

問 東葉高速鉄道は、高い営業利益を出しているが、

未払い金が3千億円を超え、利子負担が大きく、10年間の支援を行っても未払い金はあまり減らないが、将来についてどう考えるのか?

3 民営化について

指定管理者制度の評価及び保育園の民営化について

4 旧勤労少年ホームについて

同ホームは3月で閉館されたが、市民も活用できる

### 会派別議員名簿

会派名	議員名
公明党	坂本 木下
市民クラブ	江野 武田
新政八千代	横成 田久
新風	田林 久
日本共産党	小林 堀口
新緑風会	西村 (7月)
ひろば	秋葉
未来の会	松井
希望の会	皆川
なごみの会	谷敷 (7月)

\* このページは、6月24日現在  
なお、今号から、谷敷議員に代

### 個別質問

■成田忠志議員

駅周辺の安全環境づくり  
問 勝田台駅北口ロータリーの冠水対策についての検討状況は。

答 既設の排水管までの延長約100mに、新たな雨水管の敷設等を行い、冠水解消を検討している。(都)

タバコのポイ捨て条例について

問 進捗状況と駅周辺の禁煙ゾーンの実施について

答 市民アンケートを踏まえ、条例化について現在検討中である。(安)

自然環境保護行政について

問 里山・散策路確保のための対策及び自然環境保護上の問題点は。

答 「谷津・里山保全計画」を3年計画でまとめた。(安)

### 委員会質問(産業都市)

■塚本路明議員

議案第1号 八千代市産業振興基本条例の制定は、現在本市の商工業の健全な発展を促進するためには、最重要課題である。

新風

代表質問

■海老原 高義 議員
家庭の教育力向上に向

問 家庭の教育力向上に向

答 地域において「家庭教

問 プラン実施に向けての

答 活動場所の確保のほか

個別質問
菅野文男議員 質問項目

1教育 (1)学校内施設整備

2防災 (1)9月1日の防災

3まちづくり (1)市民要望

4環境 (1)廃食用油による

5川崎重工(株)鋳物砂問題

6西村幸吉議員 質問項目

7川崎重工(株)鋳物砂問題

8ボーリング結果と状況分

9モニタリングの結果に問題

10原因の解明は⑤処分場のほ

11今後安全を維持するための

12取り組みと費用負担は⑥安

13全宣言はできるか⑦再発防

14止の取り組みは⑧アイデア

15計開発地の市道部分の鋳物

16砂への今後の対応

17災害予防体制の充実を願っ

18①地域防災組織づくりの支

19援②地域における避難誘導

20訓練③防災リーダーの育成

4地震予知、緊急地震速報

5学校の改修計画⑥地域防

6災害対策の配置計画⑦橋の耐

7震診断⑧火災警報器の設置

8新製鳥インフルエンザへの備

9①発生時の対応②ワクチン、

10治療薬の備蓄計画

委員会質問

■石井敏雄議員 質問項目

1産業振興基本条例

2なぜ義務を課さない理念

3規定を条例化するのか。

4他市と比べての特徴的な

5部分について

6フラッグシップ条例効果

7について

8第4条(市の責務)

9具体的な施策について

10第8条(審議会構成)

11男女共同参画推進、多面

12的意見反映に女性委員

13の登用を要望する。

市民クラブ

代表質問

■武田哲三議員

小中学校の耐震改修

問 校舎と屋内運動場の改

修の優先順位について

答 屋内運動場は、災害時

の避難場所とされているこ

とから、改修計画において

も優先的に改修する計画と

なっております。(教)

問 大和中学校以外の改

修計画と予算について

答 計画どおり小学校屋内

運動場3校と中学校2校は、

平成19年度予算で設計委託

事業を計上し、現在、設計

作業を進めており、早期完

成に向け作業を行っており

ます。(教)

問 大和中学校屋内運動

場の進捗状況と予定

答 実施設計の第1段階で

ある基本設計が終わり、現

在、詳細設計を行っており

入札予定を8月として作業

を進めています。(教)

問 大和中学校体育館の

具体的な中身は。

答 施設規模は、標準より

も200㎡大きい1400

㎡規模としております。従

来の基本施設以外の部分で

は、正面玄関に入るための

障害者用のスロープと、ト

イレには外からのドアと内

部からのドアを設置すると

ともに、グラウンドを使用

した部活動時に下足で使用

できるトイレを併設します。

また、避難場所・防災拠

点としての機能は、シャワ

ー室や授乳室として利用可

能な給湯設備を備えた会議

室を計画しています。(市)

旧公会堂の自治会への

無償譲渡について

問 無償譲渡する館とそれ

以外の内訳は。

答 旧市立公会堂14館につ

いては、修繕の要望を提出

し、施設の無償譲渡を希望

した公会堂が7館、施設の

取り壊しを希望し、自治会

で新築するものが3館、施

設が複合施設内にあるため

貸借により貸し出すのが2

館、廃止が1館、また、民

有地のため施設の無償譲渡

を受けるか否か、8月まで

に決定するよう依頼してい

るものが1館です。(安)

問 建てかえ3館の進捗状

況及び他館の修繕状況は。

答 3館のうち1館は、す

でに解体工事契約が結ばれ

6月末に工事が完了し、7

月から自治会による新築工

事が始まる予定となっております。

新築工事の完了は、

3館とも12月末までに完了

予定と伺っています。

無償譲渡予定の修繕工事

は、順次修繕を行い、今年

度で予定していたすべての

修繕が完了する予定となっ

ています。(安)

他の質問

▽指定管理者制

度の業務管理について：①

制度の導入状況②業務管理

状況についての市の把握③

平成21年度からの指定管理

者選定スケジュール

▽八千代市文化・スポーツ

振興財団について：広域公

園内多目的広場と浅間下グ

ラウンドの貸し出し業務

▽公園構想、施設に附属す

る駐車場について：市民球

場の駐車場の不正利用への

対策、広域公園の駐車場

▽市附属機関等委員：①市

議会議員の自粛決議②将来

議委員の必要最小限数、構

成員の最小限数

希望の会

個別質問

■皆川知子議員 質問項目

財政状況について

①市の資産：地方債残高

債務負担行為、累積債務の

金利負担、積立金高

②八千代市開発協会の土地

保有総額

③連結決算での収支見直し

④職員退職金問題への対応

自殺予防について

①自殺者の推移

②予防策：うつ病の相談窓

口・早期発見、精神保健福

祉相談、休日対応

ひろば

代表質問

■谷敷時子議員

問 八千代医療センターは

フル稼働に伴い、夜間救急

待機は週3回から全日に。

答 現状を維持する。(健)

問 市職員の残業の実態は。

答 3月最高者197時間。

年間総額は約5億円。(総)

他 ▼児童保育の保護者等

が市長及び社会福祉協議会

長に要望書を提出。その正

規指導員の不補充問題等▼

松戸市は職員の勤務時間中

個別質問

■秋葉就一議員 質問項目

1 市長給与を県内都市部

15市の対議員報酬比率の平

均に合わせるため、月98↓

月86万円に減額すべき。

2 ふれあいの農業の郷等

八千代橋脇に橋の新設は不

要、歩行者専用橋でも市は

2〜6億円と試算している。

他 城橋など既存の橋の補強と

歩行者安全対策が急務。

他 財政調整基金、小中学

個別質問

■原弘志議員 質問項目

八千代医療センターについて

①フル稼働で診療内容に変

化はあったのか？②要望・苦

情の窓口について③広報や

ちよにもっと記事を載せよ。

環境問題について：一般廃

棄物処理基本計画が達成さ

れていない。実績と本年度

目標の達成は？

まちづくりについて：八千

代台駅広進入路、小池ビル

の改修問題のその後の状況

をめざして
を創る
派の議会活動

て割り当てられたものです。

見員32名)

◎は代表者

Table with columns: 所属議員, 議員名, 所属

平成20年7月8日現在の会派構成で、会派の記事を掲載しています。

# 議決結果一覧

平成20年6月 第2回定例会  
〔議案・諮問・発議案〕

議決日：平成20年6月24日

番号	件名	各会派の賛否							賛成数	反対数	議決結果
		公明党(6)	市民クラブ(5)	新風(6)	新政八千代(4)	日本共産党(4)	ひろば(3)	未来(2)			
議案第1号	八千代市産業振興基本条例の制定について	○	○	○	○	×	×	○	24	7	原案可決
議案第2号	路線の認定について	○	○	○	○	×	△	○	25	6	原案認定
議案第3号	専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	×	○	○	27	4	原案承認
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	31	0	適任
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	31	0	適任
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	31	0	適任
諮問第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	31	0	適任
諮問第5号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	31	0	適任
諮問第6号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	31	0	適任
発議案第8号	後期高齢者医療制度を初め、高齢者医療制度改悪の中止・撤回を求める意見書について	×	×	×	△	○	○	△	11	20	原案否決
発議案第9号	障害者自立支援法の抜本的な改正を求める意見書について	×	×	×	△	○	○	×	10	21	原案否決
発議案第10号	乳幼児医療費助成制度の創設等を求める意見書について	×	×	×	×	○	○	×	8	23	原案否決
発議案第11号	消費税の増税を行わないよう求める意見書について	×	×	×	×	○	○	×	8	23	原案否決

※ 「各会派の賛否」については、○は賛成、×は反対、△は会派内で賛否が分かれた。また、△の下の数字は、賛成者の数です。

〔請願・陳情〕

番号	件名	議決結果
請願第2号	子どもの医療費助成制度の拡充を求める件	不採択
陳情第6号	過剰な農薬取締法により、植物からなる農業有機資材を締め出す不法な行政指導の改善を求める意見書提出に関する件	不採択
陳情第7号	八千代市役所に「八千代市自治会連合会の事務局業務」の即刻停止を求める件	不採択
陳情第8号	八千代市においても常態となっている各種募金の「違法徴収方法」を改善もしくは停止させるための方策検討の呼びかけを、当市から全県・全国に発信する提案に関する件	不採択

※ 市当局に対する請願・陳情が採択された場合は、次の定例会で処理の経過及び結果が報告されます。

## 政務調査費収支報告（平成19年度）一覧表

（単位 上段：円）

会派名 (所属人数)	収入額	支出額							合計	返還額
		研究 研修費	資料 作成費	資料 購入費	広報費	広聴費	人件費	事務費		
公明党 (6名)	2,880,000	822,020	63,510	132,412	1,536,541			81,202	2,635,685	244,315
		31.2%	2.4%	5.0%	58.3%			3.1%	91.5%	8.5%
市民クラブ (6名)	2,880,000	1,308,170	6,700	88,830	1,413,668				2,817,368	62,632
		46.4%	0.2%	3.2%	50.2%				97.8%	2.2%
新風 (6名)	2,880,000	1,297,240	4,900	76,387	808,605			21,463	2,208,595	671,405
		58.7%	0.2%	3.5%	36.6%			1.0%	76.7%	23.3%
新政八千代 (4名)	1,920,000	716,400	5,590	104,549	840,000			69,344	1,735,883	184,117
		41.3%	0.3%	6.0%	48.4%			4.0%	90.4%	9.6%
日本共産党 (4名)	1,920,000	341,445	18,560	160,250	1,135,390	124,110		131,005	1,910,760	9,240
		17.9%	1.0%	8.4%	59.4%	6.5%		6.9%	99.5%	0.5%
ひろば (3名)	1,440,000	47,487	3,230	13,888	1,385,190				1,449,795	
		3.3%	0.2%	1.0%	95.5%				100.0%	
未来 (2名)	960,000			6,000	828,204			118,668	952,872	7,128
				0.6%	86.9%			12.5%	99.3%	0.7%
希望の会 (1名)	480,000	2,302	500	22,021	399,798			55,510	480,131	
		0.5%	0.1%	4.6%	83.3%			11.6%	100.0%	
全会派合計	15,360,000	4,535,064	102,990	604,337	8,347,396	124,110		477,192	14,181,163 (14,191,089)	1,178,837
平均比率		24.9%	0.6%	4.0%	64.8%	0.8%		4.9%	94.4%	5.6%

※ 「支出額合計」欄における括弧内の数字は、実際の支出額です。

# 議案等の概要

件名については、議決結果一覧をご覧ください。

## 条例関係

■議案第1号 産業の発展が地域の活性化及び市民生活の向上に寄与することから、産業の振興に関する基本的な事項を定め、産業の健全な発展を促進するため、条例を制定する。

## その他

■議案第2号 土地区画整理

事業及び開発行為等により築造された道路26路線を、新たに市道路線として認定する。

■議案第3号 「地方税法等の一部を改正する法律」等が本年4月30日に制定、同日付で公布された。特定中小会社の株式の譲渡益の特例措置の廃止、既存住宅の省エネ改修に係る固定資産税の減額措置の創設などに伴い、八千代市税条例の一部改正を行う必要が生じたため、特に緊急を要することから平成20年4月

30日付で専決処分し、同日付で公布、施行したので、承認を求める。

■諮問第1号から第3号 現在人権擁護委員である大木茂夫氏、土屋吉弘氏、平野公子氏が、平成20年9月30日付で任期満了となることに伴い、引き続き推薦する。

■諮問第4号から第6号 人権擁護委員である平野君江氏、川嶋一永氏、青柳滋氏が、平成20年9月30日付で任期満了になることに伴い、次期人

## 義援金を送金

岩手・宮城内陸地震

6月24日の会派代表者会議において、岩手・宮城内陸地震に対する義援金の送金が全会一致で決定しました。

翌25日に、議員から寄せられた32万円（1人1万円）の義援金を、日本赤十字社の岩手県支部と宮城県支部あてにそれぞれ16万円ずつ送金しました。

人権擁護委員として、須堯福美氏、仲村弘行氏、平倉英輔氏を推薦する。

## 政務調査費のあらまし

- 政務調査費は、八千代市では平成13年度に条例により制度化され、会派が行う調査研究に必要な経費の一部として、会派（1人会派含む）に対し交付されています。
- 政務調査費の額は、1人当たり月額4万円（年間48万円）で、通常毎年度2回に分けて交付します。
- 会派は、各年度終了後（年度途中で会派が解散した場合は、その都度）に、領収書等の証拠書類を添付した収支報告書を提出し、残額がある場合は返還します。左の表は、収支報告書（平成19年度）の一覧表です。
- 支出の基準等について、より透明化を図るために、「政務調査費使途基準運用指針」を作成しました。（平成20年度交付分から適用）
- 以下は、平成19年度分政務調査費の各支出科目の主な内容です。

研究研修費	視察に伴う旅費・宿泊費、研修会参加負担金など
資料作成費	複写料など
資料購入費	書籍代、新聞購読料など
広報費	会報の印刷製本費・新聞折込料・郵送料など
広聴費	アンケート用紙の印刷製本費・郵送料など
人件費	該当なし
事務費	事務用備品・消耗品代など